

プライベートバンキング（PB）教育プログラムの改定について

平素より、当協会の事業運営につきましては、格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、プライベートバンキング（PB）教育プログラムの改定を進めてまいりましたが、このほど、新しいPB教育プログラムへの移行につき詳細が決まりましたので、ご案内します。

—— 教育プログラムの改定について詳しくは、こちらをご覧ください。

1. 新しいプライマリーPB試験の開始時期等

現行のプライマリーPB試験を本年2023年3月31日（金）に終了し、同4月10日（月）より、全面改定されたテキスト『新プライベートバンキング』に基づく新しいプライマリーPB試験を開始します。

現行のプライマリーPB試験を受験する場合は3月28日（火）までに申込をしてください。新しいプライマリーPB試験を受験する場合は4月3日（月）以降に申込をください。受験用のバウチャーは、双方に使用できます。

なお、4肢択一式のコンピュータ試験（CBT）で、3単位ある試験を単位毎に受験可能であることや、問題数（各単位40問）、試験時間（各単位100分）、受験料（各単位8,400円）は従来から変更はありません。現行のプライマリーPB試験で取得済の単位は、新しいプライマリーPB試験の同一単位として引き継がれます（有効期間も引き継がれます。但し、下記3の新しいプライマリーPB試験単位合格者の対外表記は適用されません）。

▼ スケジュール

— 変更されることがあります。

日付	予定
2月28日（火）	・現行テキスト『プライベートバンカー（上下巻）』販売終了
3月28日（火）	・現行のプライマリーPB試験の受験申込終了
3月31日（金）	・現行のプライマリーPB試験終了
4月3日（月）	・新しいプライマリーPB試験の受験申込受付開始
4月10日（月）	・新しいプライマリーPB試験開始

2. 新しいテキストの発刊

改定後のPB教育プログラムに準拠したテキスト『新プライベートバンキング』（第1分冊～第3分冊）を本年2023年1月に発刊しました。

ファミリーとビジネスの両面から顧客の課題を解決できることがプライベートバンカーに必要とされる特徴的なスキルであることを意識しつつ、プライベートバンキング業務を巡る環境の変化を踏まえ、現行テキストの内容を一新しました。

特に資産の承継・管理に関しては、近年普及が進んでいる信託について、事例に基づく解説を充実させました。また、事業承継に関しては、親族内承継と親族外承継に分けて詳しく解説するだけでなく、顧客のビジネスの永続的な成長を支えるために役立つ知識として、事業価値評価も取り上げています。

プライベートバンカー資格の取得に際して求められる知識やスキルを「学習ポイント」として網羅し、それに即して図解・数値例を充実させたほか、例題やトピックス等も掲載するなど、より学びやすいテキストとなっています。

各分冊は新しいプライマリーPB試験の各試験単位（Ⅰ～Ⅲ）に対応しています。

分冊	学習項目	ページ数	価格 (税込)
第1分冊	顧客とのかかわりと職業倫理・行為基準	268 ページ	3,630 円
	資産の運用 (財産状況の把握、金融資産の運用)		
第2分冊	資産の運用(不動産の運用)	254 ページ	3,630 円
	資産の承継・管理		
第3分冊	事業の承継	183 ページ	3,300 円

ご購入は、ときわ総合サービス「ときわんブックストア」よりお申し込みください。

<http://www.tokiwa-ss.co.jp/bookstore/index.html>

また全国書店、通販サイトでの販売も行っています。

3. 新しいプライマリーPB試験単位合格者の対外表記について

新しいプライマリーPB試験において試験単位に合格した方については、その事実を名刺への記載等によって表記することができるようになります(例えば、日本証券アナリスト協会 PB「資産運用」分野修了など)。これにより、特定の分野を修了したことを第三者に示すことができます。

受験者には、3単位の合格によりプライマリーPB資格を取得することを期待していますが、まずは、PBへの入り口として、自らの経験・スキルやキャリアパスに合わせて選択した分野からチャレンジしていただければと思います。PB教育プログラムを職員の研修の一環として使用する金融機関では、育成したい特定の分野の単位の取得を奨励することで、それぞれの金融機関のニーズにマッチした人材の育成を図ることができます
なお、表記にするに当たって継続教育や更新料は必要ありません。

表記例等詳細はこちらをご参照ください。

以 上